

看護者のための 倫理的合意形成の考え方・進め方

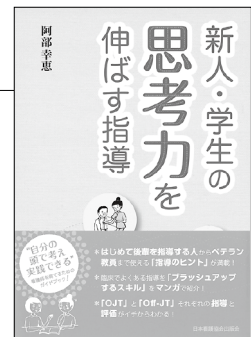
著：吉武久美子／医学書院
定価：2400 円＋税／TEL：03-3817-5657

●「倫理的合意形成とは関係者間で最善策を探し続けるプロセス」と著者はいう。現場の看護職は複雑な状況のなかで倫理的問題に気づき、その解決を求められる。倫理リスクに気づいたとき、その合意形成に向けて、いつ、どこで、誰と、どんなコミュニケーション技術を用い、どのような目標を設定して話し合いを運営するのか。現場の倫理的問題に悩み、苦しみ、迷う看護職を問題解決に導くテキスト。

新人・学生の思考力を伸ばす指導

著：阿部幸恵／日本看護協会出版会
定価：2000 円＋税／TEL：0436-23-3271

●自分の頭で考えられる看護師の育成に向けて、シミュレーション教育の第一線で活躍してきた著者のエッセンスがまとめられた一冊。阿部流「指導者の心構え」やOJTやOff-JTの指導と評価など、教育現場に即した話題と実践が豊富に掲載。はじめて教育を担当する教員はもとより、ベテラン教員も、自身の経験や実践と照らし合わせることで、参考になること間違いなし！



シリーズ臨床の思考 看護実践のアポリア D・ショーン《省察的实践論》の挑戦

著：ゲーリー・ロルフ／訳：塚本明子／編：ゆみる出版編集部／ゆみる出版
定価：2500 円＋税／TEL：03-3352-2313

●看護師は、学術研究から得られるエビデンスに基づくケアが期待される。しかし、著者は「実践を形づくるのに最も重要で適切な知識は、……自分自身の実践を省察することから得られる」とするショーンの「省察的实践論」を再考、「人間科学としての看護」の構築をめざす。看護における理論と実践の間のズレをいかに埋めるべきかという問いに取り組んできた著者の論考集。

シリーズ 大学の教授法 2 講義法

編著：佐藤浩章／玉川大学出版部
定価：2400 円＋税／TEL：042-739-8935

●大学教育ではアクティブ・ラーニングが優勢だが、講義法のニーズはある。本書は、小誌でもおなじみの佐藤先生による、大学における講義法の基礎的な知識が学べる手引書。具体的な授業事例を取り入れ、実践に役立つ構成。心理学、脳科学、教育学、インストラクショナルデザインなど、多様な知見から知識の定義、授業設計で考慮すべきことを理解する。教育学の知見を看護教育に！

